

# PCSA アクションレポート（人事問題研究部会）

平成 30 年 9 月版

## 第 174 回人事問題研究部会

開催日時 平成 30 年 9 月 14 日（金）  
 開催場所 PCSA 会議室  
 出席人数 部員 6 名、正会員オブザーバー 1 名、合計 7 名  
 出席者 <リーダー>  
           志賀 健太郎 株式会社ニラク 人財開発部 人事労務グループマネジャー  
 <サブリーダー>  
           木内 克宏 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部 次長  
 <部員>  
           長岡 敏之 株式会社ダイナム 人事部 人事労務担当  
           佐々木 忍 夢コーポレーション株式会社 経営企画室 人事企画担当  
           河野 太介 株式会社 TRY & TRUST 人事総務部 LD  
           鈴木 崇之 株式会社三永 人事総務部 部長代行  
 <オブザーバー>  
           並木 康行 株式会社ダイナム 人材開発部 採用担当

### 1) 平成 30 年 7 月集中豪雨・北海道胆振東部地震 他 情報共有

平成 30 年 7 月集中豪雨、北海道胆振東部地震といった災害に関して、各社該当地区店舗の対処対応、後日の営業再開や周辺の状況等の情報を共有した。なお、台風接近時に従業員が早期閉店を判断。遊技しているお客様へのお知らせとヒアリングを進めながら早めの閉店作業を実施したとの情報を共有した。また、物的被害の際の補償、保険などについても各社情報を共有した。保険や中には労働組合が対応する企業もあった。なお、北海道胆振東部地震では、ホール各社の店舗やコンビニエンスストアから、食料や飲料の放出、炊き出しなどの緊急対応を実施していたとの情報も共有した。

### 2) 人事問題研究部会 質問コーナー「出張管理」

Q：従業員の出張管理について

今年は大阪や北海道の地震をはじめ、雪害、豪雨、台風、空港足止め等、自然災害による被害が出ている。その中で、従業員が出張先で災害に遭ってしまうリスクがあると思うが、従業員の出張先について、会社でどのように把握・管理しているか？

（申請・承認ルート、出張先情報の管理手法（ツール）、有事の際の出張先把握方法、等）

- ・事前に出張申請（申請用紙に行先、出張内容、日程を記入し上長承認）。
- ・申請は各部署で行われるため、会社での出張管理の一元化はできていない。
- ・スケジュールは共通のシステムを利用しており、PC 貸与者のスケジュールは確認できるが、スケジュール入力内容は個人任せのため、内容に個人差がある。
- ・申請、承認後、総務で旅券や宿泊先手配、総務がエクセルで管理している。
- ・出張の申請は事前に承認をもらったら、事後申請で立替分の清算稟議を上げるので、事前に宿泊先まで把握はしていない。

・サイボウズスケジュール登録で把握している。

### 3) 「ダイナム杯パチンコアイデアグランプリ」について

説明：株式会社ダイナム 人材開発部 採用担当 並木 康行 様

名称：ダイナム杯パチンコアイデア GP（グランプリ）

目的：ダイナムの採用ブランディングを向上させる

1. 学生へのダイナムの PB 事業とごらくブランドの認知
2. ノンユーザー学生へのパチンコ啓蒙

目標：1. 学生応募者数 100 名以上の達成

2. コンテスト参加社から 5 名（ユーザー）の新卒入社

応募対象者：1. 一般学生（大学、大学院、専門、短大）

2. インターン志望学生（大学、大学院、専門、短大）
3. ダイナム内々定者
4. 在学中（大学、大学院、専門、短大）学生クルー

コンテストテーマ：「10 年後のパチンコってどうなっているべきだろう？ こんなパチンコ機があったらいいのに」  
を考えて下さい。

賞金：賞金総額 50 万円（1 位 30 万円、2 位 10 万円、3 位 5 万円、各賞 1 万円×5 組）

- ・3 年前から、インターンシップの中でこじんまりと実施していた内容。
- ・興味深い提案があったので今年から大きく開始した。
- ・露出は、LandingPage に呼んでくる仕組みとして Youtube、マンガなどで「私ならこんなのを考える」というかたちで作成した。
- ・実利的に学生の今後に追いかける。パチンコは好きだけどパチンコホール企業には就職しない人を引っ張ってきたい。メインターゲットは、ユーザー。サブターゲットはノンユーザー。なお、どちらが有利というのはない。

### 4) 新卒採用情報交換会について

- ・株式会社パフに無料で講演を依頼している。
- ・株式会社パフ、採用力検定などを無料セミナーで実施している。講演内容にその採用力検定をメインに依頼している。
- ・12 月 14 日、または 1 月 11 日のどちらかの部会日程での開催を打診している。

### 5) 11 月 拡大人事問題研究部会 i n 福島について

<スケジュール>

**平成 30 年 11 月 9 日（金）**

- |       |                               |      |
|-------|-------------------------------|------|
| 14:00 | 集合 JR 福島駅 東口改札口               |      |
| 15:00 | 株式会社アポロガス様 企業勉強会              | （本社） |
| 15:05 | 1. 本社見学                       |      |
| 15:15 | 2. 企業勉強会（90 分）                |      |
|       | ・講師 株式会社アポロガス 代表取締役社長 篠木 雄司 様 |      |
| 16:45 | 3. 休憩                         |      |
| 17:00 | 4. 質疑応答                       |      |
| 17:30 | 5. 終了                         |      |

チェックイン・移動

19:30 情報交換交流会 開始

21:30 情報交換交流会 終了

平成 30 年 11 月 10 日（土）

09:00 集合 JR 福島駅 東口タクシー乗り場

店舗見学会 in 福島 2 店舗予定

09:20 ①ニラク鳥谷野店 見学（60 分）

10:20 出発

10:30 ②ニラク福島太平寺店 見学（60 分）

11:30 店舗見学会 終了

12:00 解散 JR 福島駅

### 1. 株式会社アポロガス訪問・講演

- ・株式会社アポロガスを訪問。内定者、新入社員、既存社員への研修が非常にユニーク。
- ・代表取締役社長 篠木 雄司 様に講演を依頼。

### 2. 店舗見学会 in 福島

- ・ニラクのオペレーション、アルバイト教育を視察。
- ・鳥屋野店はパーソナル、太平寺店はほとんどパーソナルで一部積み。

## 6) 労政時報勉強会

### PartA 「労政時報ニュース」

下記項目の内容について解説をして情報、注意すべき点を共有した。

- ・時間外労働、休日労働に関する協定書(36 協定)新様式(案)を公表。
- ・「労働基準法第 36 条第 1 項の協定で定める労働時間の延長及び休日の労働について留意すべき事項等に関する指針案」を公表。
- ・年休を前倒しで付与した場合の年休時季指定義務の特例について(案)」を公表。
- ・全ての都道府県で地域別最低賃金の改定額が答申される。

### PartB 「T&T フィロソフィー 進捗状況報告」

担当：河野 太介 株式会社 TRY & TRUST 人事総務部 LD

- ・策定して 5 年経過、昨年人事問題研究部会が訪問した時には、リーダーフィロソフィーを制定した直後。
- ・継続してフィロソフィーの浸透を図っている。制度変更や新たに始まったことなどはない。
- ・現在は、リーダーフィロソフィーの浸透や定着を図っている。
- ・フィロソフィーとは、当社は理念型経営に特化している。全従業員の物心両面の充実。個人の判断基準ではなく、フィロソフィーを基準とした経営を行っていくとしている。
- ・フィロソフィーはあくまで考え方。PA にも浸透を図っているが反応は様々。
- ・入社時には必ずフィロソフィーの説明が義務付けられている。
- ・リーダーフィロソフィーは、考え方だけでなく稼ぎ方まで伸長している。
- ・人事考課、360 度考課にもフィロソフィーは入っている。
- ・レポートの題材、面接面談の基本として使われている。
- ・店舗勉強会でのマニュアルとしても使用。
- ・反省会などで、出来た、出来なかった内容とフィロソフィーを紐づけて検討している。
- ・フィロソフィーを導入した理由を聞かれるが、二宮金次郎の「道徳なき商売は犯罪で、経済ない道徳は寝言」という言葉で回答している。

・全て可能とは言い切れないが、求める理想として掲げている。

#### PartC 質問事項」

下記質問項目の回答について各社が説明特筆すべき点を含めて情報を共有した。

Q1：社内規定

Q1-1：来年4月度「働き方改革法案」施行に伴い、年次の有給休暇の取得の対応状況は？

⇒「有給5日取得義務化」含めて、「残業時間規制」「勤務インターバル導入奨励」その他、様々な対応をしていると思うが、どの様な点に重点を置いているのか？

Q1-2：従業員の残業において、どのような勤怠管理をしているか？ 特に1分単位での勤怠管理。

⇒時間外手当の算出方法、勤怠記録の方法（タイムカード、指紋・静脈、Web・アプリ等）着替え、準備等の時間も勤務時間としているか等の、具体的な部分を詳しく。

Q2：昇進制度

Q2-1：PTや社員の昇進制度はどういった制度なのか？ ※特に店長への昇進や本社役職者の昇進。

### 7) 企業トピック&雑誌記事

- ・日遊協「女性活躍推進フォーラム in 東京」について
- ・UA ゼンセン「女性リーダーの育成へ 2人の女性委員長が提言」
- ・エコノミスト「残業規制に注意！ 上限超過に罰則の強制力」
- ・グリーンベルト「ひまわりカレッジが“健康”に注目」
- ・フジサンケイビジネスアイ「ダイナム 健康サポート休暇導入」

### 8) 次回開催

平成30年10月12日（金）

午前11時～午後3時

PCSA 会議室

以上